Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業　出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	演劇	種目	ミュージカル

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分とB区分の両方

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	有

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能

その他を選択した場合	

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃおぺらしあたーこんにゃくざ 有限会社オペラシアターこんにゃく座		
代表者職・氏名	代表取締役　萩 京子		
制作団体所在地	〒 214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7－14－1		
電話番号	044-930-1720	FAX番号	044-930-1721
ふりがな 公演団体名	おぺらしあたーこんにゃくざ オペラシアターこんにゃく座		
代表者職・氏名	代表取締役　萩 京子		
公演団体所在地	〒 214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原7－14－1		
制作団体　設立年月	1988年　6月　法人設立　（1971年　4月　団体創立）		
制作団体組織	役職員 代表取締役　萩京子 取締役　大石哲史	団体構成員及び加入条件等 音楽監督・座付作曲家/萩京子、歌役者37名、制作6名、事務2名。加入条件:団体の活動に全面的に参加できること。歌役者はオーディションを、制作や事務は面接を行なう。	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	土居 麦
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	土居 麦

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">1966年に東京芸術大学に発足した「こんにゃく体操クラブ」を母体として、1971年、オペラ小劇場こんにゃく座創立。日本においてオペラを普及させるために欠くことの出来ない条件として、日本語の明瞭な歌唱表現を追求しながら、小・中・高校生を主な対象とした全国巡回公演を開始。1985年4月にオペラシアターこんにゃく座と改名。1988年6月、有限会社オペラシアターこんにゃく座設立。創立以来、林光（故人）、萩京子作曲のオリジナルオペラを数多く創作、上演している。活動は国内に留まらず、過去7ツアー延べ19カ国の海外公演も行なっている。
1989年、ジローオペラ賞特別賞、文化庁芸術祭賞、音楽之友社賞受賞。1997年、山本安英の会記念基金賞、三菱信託音楽賞受賞。2000年、『ロはロボットのロ』 の成果により、東京都教育委員会優秀賞、（社）日本演劇協会賞、（財）都民演劇賞の3賞受賞。2014年、小泉文夫音楽賞受賞。
1998年より継続して文化庁の現・文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）に採択される。また本巡回公演事業に2003年より継続し採択されている。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="4">2011年度から2020年度までの10年間における学校公演は、小学校999ステージ（344千人）、中学校24ステージ（10千人）、高校200ステージ（132千人）、その他（中学高校一貫校、幼稚園保育園、特別支援学校など）111ステージ（44千人）、合わせて1,334ステージ実施。
オペラ『森は生きている』は1992年初演以来、おもに小学校学校公演などで1,214ステージを行い、延べ561千人の観客にご覧いただいている。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">1984年～2020年までに計30ステージ、約4200名の児童生徒が鑑賞している。
作品は『森は生きている』、『ロはロボットのロ』、『ピノッキオ』など。
その他コンサート企画などの依頼を受け、実施している。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td colspan="2">有</td></tr>
<tr><td>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</td><td colspan="2">有</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合URL</td><td colspan="2">DVDを提出いたします</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td>ID:</td><td></td></tr>
<tr><td>PW:</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">Aの提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合URL</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td>ID:</td><td></td></tr>
<tr><td>PW:</td><td></td></tr>
</table>

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名　オペラシアターこんにゃく座　】

対象	○	小学生(低学年)	-	中学生	
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	オペラ『森は生きている』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オペラ『森は生きている』 原作:サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)／作曲:林光 台本:林光 演出:眞鍋卓嗣／振付:白神ももこ　　公演時間(95 分)				
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	オペラ『森は生きている』は1992年の初演以来30年に渡り、オペラシアターこんにゃく座の代表レパートリーとして全国の小中学校、高校の芸術鑑賞行事ほか、公文協や各地実行委員会、鑑賞団体などで、およそ1200公演を重ね、子どもから大人まで幅広い年齢層の観客に愛されてきました。【厚生省　中央児童福祉審議会推薦　平成10年度推薦文化財】 歌い手12人が一月から十二月まで‘月の精’を演じながら、娘、女王、兵士、博士など他の役も担い、一人二役以上を歌い演じます。オーケストラのように重層的で豊かな音楽をピアノの演奏が支え、歌役者のアンサンブルが細やかに、また迫力ある場面の展開を演出しています。‘十二の月の精’と人間たちが織りなすドラマは、ファンタジーでありながら、自然の雄大さと人間の学びを描いた、示唆に富んだ楽しいオペラとなっています。 ～ものがたり～ 　新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が四月に咲くマツユキ草がほしいと言い出したために、国中は大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらむ継母のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人の娘が真っ暗な森に追いやられてしまいます。 そこでは十二月(じゅうにつき)の精たちがたき火を囲んで新年を迎える儀式の最中でした。娘の話を聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。娘はマツユキ草を手に入れますが、それを渡された女王は、自らマツユキ草を摘むために吹雪の森へと出かけていきます。しかし、そこで待ち受けていたものは・・・。					
演目選択理由	1954年、俳優座・こどもの劇場で「森は生きている」は日本初演されました。その劇中歌を手がけた若き林光は、子どもたちが「十二月(じゅうにつき)の歌」を口ずさみながら帰る姿を見て、作曲という仕事を一生続ける決意をかためたと言います。オペラ『森は生きている』は、戦後の鑑賞文化、特に子どもの鑑賞機会を大切にし、豊かにしてきた本流を継ぐ演目です。2021年2月、この「森は生きている」が新演出版として生まれ変わりました。4回目となる新しい装いに、作品の本質は新たな角度で「今」を照射するでしょう。劇団俳優座所属の気鋭の演出家、眞鍋卓嗣氏により、日本演劇界の歴史をも通底に含む作品の魅力が、現代に継がれていくことを証明したいと思います。 　ロシア民話を基にした本作は、自然の壮大な美しさ、その自然とともに生きる人間の智慧が、彩り豊かな音楽とともに描かれています。自然の理と対峙する登場人物の姿を通して、子どもたちが自身ならどうするかと思いを重ねる力を、ワークショップや本公演を通じて育み、鑑賞後の学校生活においても本事業の体験が一つの指標となることを願っています。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	本公演において全校児童生徒に劇に参加してもらいます。 1／「森へ向かうソリの歌」を歌う場面で、出演者と一緒に演じながら歌います。 2／事前にマツユキ草を児童生徒1本ずつ工作で作ってもらい、マツユキ草が咲く場面で一斉に掲げ、体育館いっぱいの花の野原を演出します。娘役がその野原を歩きながら、子どもたちからマツユキ草を摘んでいきます。 3／アンコール曲として、劇中で歌われる「十二月の歌」を一緒に歌います。 学校の希望により、仕込みバラシの見学や、給食時間を一緒に過ごす工夫をします。					
出演者	沢井栄次、大久保哲、花島春枝、泉篤史、冬木理紗、泉まどか、飯野薫、鈴木あかね、齊藤路都、熊谷みさと、大石哲史、(以上オペラシアターこんにゃく座歌役者)、佐山陽規(フリー)、榊原紀保子(ピアノ・フリー) ※経歴別紙参照下さい(②メンバー表)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者:　13　名 スタッフ:　6　名 合　計:　19　名		機材等 運搬方法	積載量:　4／2　t 車　長:　8.4／6.5　m 台　数:　2　台		

【公演団体名　オペラシアターこんにゃく座　】

<table>
<tr><td>実施に当たっての
会場条件</td><td colspan="6">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">会場設営の所要時間
(タイムスケジュール)の
目安</td><td>前日仕込み</td><td>無</td><td>会場設営の所要時間</td><td colspan="2">4　時間程度</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8時</td><td>8時～12時</td><td>13時15分～14時50分</td><td>10分</td><td>15時～17時</td><td>17時</td></tr>
<tr><td colspan="6">※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の
参加可能人数</td><td colspan="2">ワークショップ</td><td colspan="3">450名</td></tr>
<tr><td colspan="2">本公演</td><td colspan="3">450名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態及び内容</td><td colspan="6">事前に劇中歌の楽譜と音源を渡し、音楽の授業などで練習、また校内放送などで曲に親しんでいただきます。当日は、本公演で共演する場面の指導を中心に行ないます。
1／劇団紹介をしつつ、劇団名の由来となっている「こんにゃく体操」を行ないます。
2／「オペラ」とはどういうものか、“演劇”と“オペラやミュージカル”の違いは何か、実演をまじえて説明します。
3／本公演で児童生徒に参加してもらう場面が、物語の中でどのような場面なのか、またどのように出演するかなどの説明と、実際に体を動かしながら練習を行ないます。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td colspan="6">※別添あり（別添②シート）</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での
実施における工夫点</td><td colspan="6">上記と変更なく実施することが可能ですが、事前打ち合わせで学校との相談の上、子どもたちの習熟レベルに合わせて対処し、やりかたを決めていきたいと思います。
基本的な考え方として、特別支援学校（学級）に在籍する子どもたちにも普通学級の子どもたちと同様に芸術に触れる機会を提供できるように工夫していきます。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="6">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

リンク先	No.3	【公演団体名	オペラシアターこんにゃく座	】

実施に当たっての会場条件（その他）	1／ピアノはフロアで使用します。所定位置がステージ上の場合、上げ下ろしのお手伝いを男性の先生方を中心に5～10人ほどお願いいたします。 2／事前のピアノ調律を可能な限りお願いしております。（A=442Hz） 3／幕張りのため、体育館天井の梁、バスケットゴール、ギャラリー、いずれかを必要とします。 4／本公演当日、ステージは楽屋として利用します。ステージに緞帳がない場合、体育館近くの教室を1室お貸し下さい。 5／体育館が2階の場合は基本条件より長めの仕込み時間が必要となります。

リンク先	No.3	【公演団体名	オペラシアターこんにゃく座	】

ワークショップ 実施形態の意図	1／動きが独特で、すぐに真似をしてみたくなる「こんにゃく体操」を導入に行なうことで、初対面の講師と子どもたちとの距離を一気に縮めるねらいを持ちます。かつ、無駄な力を抜きながらまっすぐ立つことを意識した体操から、こんにゃく座が培ってきた日本語を歌う方法を子どもたちに分かりやすく伝え、各自が本来持っている声を引き出す準備運動を行ないます。 2／短いひとつのシーンを、演劇で台詞だけで演じる場合と、オペラやミュージカルで台詞に歌がある場合の両パターン実演し、その違いを解説します。初めて目の当たりにする子も多いであろう“オペラ”への理解を促し、またこの後の時間で実践する、「歌いながら演じる」ことのイメージを膨らませてもらいます。 3／本公演で共演してもらう場面を創作し練習していきます。児童生徒が本公演に参加する意識をしっかりと持ち期待を高めてもらえるように、言葉を添えながら実践していきます。 ①「森へ向かうソリの歌」は、銀色に輝く美しい景色をつぎつぎと後にしながら、ソリが宮殿から森へと向かう様子を歌った楽しい曲（場面）です。子どもたちは歌詞の内容を想像しながら体を弾ませて、出演者と一緒にソリに乗る姿を表現していきます。 ②マツユキ草を咲かせるシーンは、児童生徒ひとりひとりが事前に工作をして作ったマツユキ草を掲げることで会場全体が白い花の野原となる、とても美しい感動的な光景です。本公演では、子どもたちによる白い野原の間を、娘役の出演者がマツユキ草を摘みながら進み、感動を歌います。 ③「十二月の歌」はオペラ『森は生きている』を代表する劇中歌です。大人になっても忘れがたい曲を子どもたちに覚えてもらうことで、本事業での体験を一生の思い出にしてもらいたいねらいがあります。劇中の音程は歌唱技術の未熟な子どもたちには少し高いので、音階を下げ、声を出す楽しさを優先しながらアンコールで一緒に歌えるように練習します。 4／最後に児童生徒（また教師）から、この時間で体験したことに対する質問や意見を受ける時間を設けます。疑問を抱いたことをそのままにせず、また繰り返しの確認を言葉で行なうことで、理解の定着を計ります。

オペラシアターこんにゃく座
オペラ『森は生きている』　出演予定メンバー表

①沢井栄次・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。洗足学園音楽大学卒業、二期会オペラ研修所マスターコース修了後、2008 年入座。『森は生きている』一月・総理大臣役ほか多数のオペラに出演。

②大久保哲・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学芸術科卒業後、2016 年入座。『森は生きている』二月・カラス役でデビュー。

③花島春枝・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。横浜国立大学大学院修士課程修了後、1998 年入座。『森は生きている』三月・オオカミ役ほか多数のオペラに出演。

④泉　篤史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟大学卒業後、2015 年入座。『森は生きている』四月・警護隊長役ほか多数のオペラに出演。

⑤冬木理森・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京学芸大学卒業後、2014 年入座。『森は生きている』五月・ウサギ役ほか多数のオペラに出演。

⑥沖まどか・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武庫川女子大学声楽学科卒業後、2009 年入座。『森は生きている』六月・もうひとりのむすめ役ほか多数のオペラに出演。

⑦飯野　薫・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学専攻科演劇専攻修了後、2012 年入座。『森は生きている』むすめ役ほか多数のオペラに出演。

⑧鈴木あかね・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学卒業後、1994 年～2004 年こんにゃく座に在籍、2013 年再入座。『森は生きている』八月・女官長役ほか多数のオペラに出演。

⑨齊藤路都・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武蔵野音楽大学卒業後、2009 年入座。『森は生きている』九月・おっかさん役ほか多数のオペラに出演。

⑩熊谷みさと・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京学芸大学卒業後、2009 年入座。『森は生きている』十月・女王役ほか多数のオペラに出演。

⑪大石哲史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業後、1981 年入座。『森は生きている』十一月・兵士役のほか、こんにゃく座のほとんどの作品に出演している。また劇団内外で数多くのオペラ作品演出を手がけ好評を博している。

⑫佐山陽規・・・フリーの俳優。1972 年よりオペラ小劇場こんにゃく座において 13 年間活動。こんにゃく座在籍中のステージ数は 2000 回以上に及び、また退座後も多くの作品に客演している。こんにゃく座以外の舞台では、東宝ミュージカル『レ・ミゼラブル』ジャヴェール役、ミュージカル『ピーター・パン』フック船長役など。2002 年、ニューヨークとワシントンで上演された宮本亜門演出、S・ソンドハイム作曲『太平洋序曲』では米マスコミからも賛辞を得る。現在、桐朋学園芸術短期大学演劇科非常勤講師。

⑬榊原紀保子（ピアノ）・・・東京音楽大学卒業、同校研究科修了。2001 年東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディション合格。2005 年 JILA 音楽コンクール室内楽部門１位、2006 年大阪国際音楽コンクール２台ピアノ部門第１位。国内外の演奏家との共演も数多く、チェコの名門 Talich 弦楽四重奏団とは二度にわたり共演。アンサンブルピアニストとしての信頼は厚く多数の CD や舞台音楽の録音に参加。2003 年からオペラシアターこんにゃく座ピアニストとして日本全国で演奏する。

オペラ 森は生きている

原作　サムイル・マルシャーク（湯浅芳子訳による）

台本・作曲　林光

演出　眞鍋卓嗣

“もえろ　もえろ　あざやかに”　月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで
〈むすめ〉はなにをもらったか？　女王はなにを学んだか？

1992年の初演以来、時を経てもなお人々に愛され続けるオペラ『森は生きている』。
ロシアの森を舞台に一月から十二月までの〈月の精〉たちと人間たちが織りなす物語を
12人の歌い手とピアニストによってお贈りします。

オペラシアターこんにゃく座
OPERA THEATER KONNYAKUZA

オペラ 森は生きている

原作　サムイル・マルシャーク（湯浅芳子訳による）
台本・作曲　林光
演出　眞鍋卓嗣

美術：伊藤雅子
衣裳：山下和美
照明：金英秀
振付：白神ももこ
舞台監督：八木清市
音楽監督：萩京子

Illustration：ミロコマチコ
Title design：片山中蔵

1954年戦後まもなく劇団俳優座によって「森は生きている」が日本初演された時、劇音楽を担当したのが当時22歳の林光でした。小さなこどもたちが「もえろもえろあざやかに〜」と歌いながら劇場をあとにする姿を見て、音楽を一生のしごとにしようと決めたといいます。こんにゃく座が「森は生きている」をオペラとして初演したのは1992年。以来、大切なレパートリーとして上演し続けています。岡村春彦、髙瀬久男、大石哲史演出を経て、2021年2月にこんにゃく座創立50周年記念公演として、眞鍋卓嗣の演出によってオペラ『森は生きている』が生まれかわりました。こどもから大人まで、年齢を問わず楽しんでいただけるオペラです。

Photo：前澤秀登

ものがたり

新しい年を迎える大晦日。年若い女王が、四月に咲くマツユキ草が今すぐ欲しいと言い出したために国中は大さわぎ。ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと、むすめはまっ暗な冬の森へ追いやられます。森の中では、一月から十二月の月の精たちが、たき火を囲んで新年を迎える儀式をおこなっていました。むすめの話を聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。冬の森はたちまち春へと季節をかえ、むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出します。むすめの帰りを待ちかまえていた継母と姉娘はマツユキ草を取り上げ、宮殿の女王の元へと向かいます。女王は、みずからマツユキ草を摘むために家来たちを引き連れて森へと出かけていきます。しかし、そこで待ちうけていたものは…。

アンケート

●8歳の娘と一緒に来ました。初めてのオペラに目をキラキラさせていました。すごい迫力にドキドキして感動しました。なんだか胸がとってもあたたかくなりました。

●美しい情景が見えてくる曲に演劇が加わり、舞台セットと衣裳と出演者の方々とすべてが合わさって、そのようなオペラを見ることができてとても幸せでした。一緒に口ずさんで歌うことができるなんて夢のような時間でした。

●あらためて林光さんの音楽のすばらしさ、力強さを実感しました。アレンジ、演奏ともに上質な、ゆたかな、物語の世界観を表して本当にステキでした!! 一瞬の今を生きなくては!!

公演評

●「十二の月」など、オペラ全編にあふれる宝石のような歌たちが深く優しく語りかけてくる。それを聴きながら胸がいっぱいになった。しかも歌とセリフのひとつひとつが、今日的な鋭い問いかけとなって私たちに迫ってくる。

（うたごえ新聞 / 小村公次）

●自然と人間のあるべき姿を問う物語の主題は重いが、舞台の仕立ては軽やかだ。高慢な女王に家来たちは右往左往。月の精は、雪や桜、紅葉など春夏秋冬の色をまとい、絵本をめくるような楽しさも。自然の厳しさを知り、女王が改心していく展開は後味もいい。キャストたちの日本語歌唱は明晰で、言葉が耳と心にダイレクトに響く。分厚いハーモニーでもにごらないのは、研鑽のたまものだろう。

（共同通信社 / 須田綾子）

オペラシアターこんにゃく座
〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1
TEL：044-930-1720　FAX：044-930-1721
https://www.konnyakuza.com
e-mail:info@konnyakuza.com

オペラシアターこんにゃく座とは…

こんにゃく体操による身体訓練を続け、言葉（日本語）がはっきりわかるオペラを創作上演するオペラ劇団として 1971 年に創立。マイクを使用しない生の歌声、ピアノを主とした様々な楽器の生演奏による作品を多数上演している。歌役者の歌い語り演じる力によって、こどもからおとなまで楽しめる多彩な作品をレパートリーとし、年間約 250 公演を上演する。

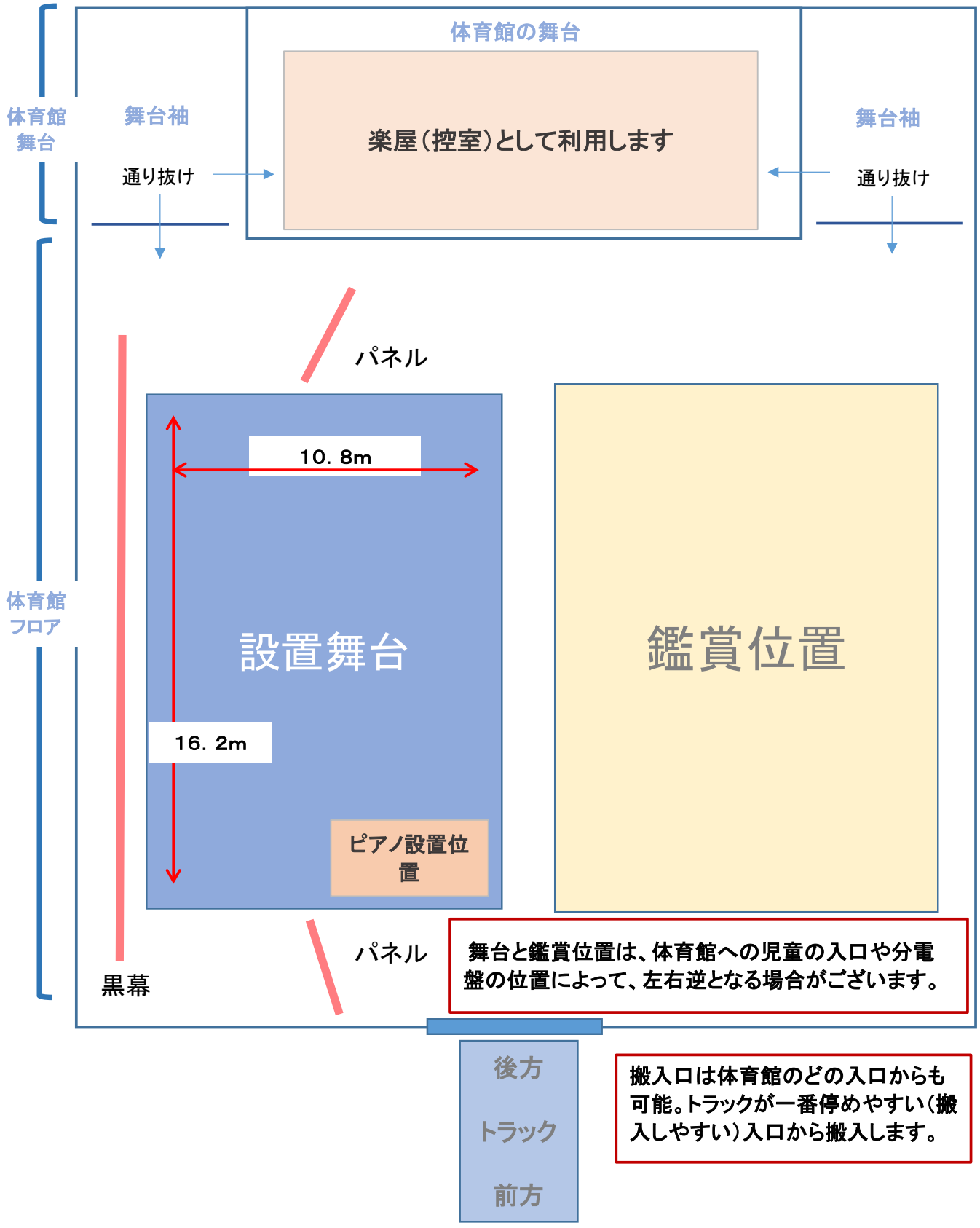
【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I118	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	I	区分	B区分
公演団体名	オペラシアターこんにゃく座				制作団体名	有限会社　オペラシアターこんにゃく座			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数＊	2室	条件	体育館緞帳を閉めステージ上を主な控室（楽屋）とします。他に昼食時の控室をご用意下さい。				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック	1台	2tトラック	1台	可
	上記車両について「応相談可」の場合，内容詳細			4t車が学校敷地に進入できない場合、2t車への積み替えスペースの確保によっては解消				
	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（車幅2.3m×車長8.4m×車高3.3m）				不可
	搬入車両の横づけの要否＊			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離＊			20m以内				可
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・できる限り屋根のある経路が望ましい。				可
	理由			舞台大道具の搬入をするため				
	設置階の制限＊			問わない				―
	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	2.0m			可
WSについて	参加可能人数	450名程度まで						可
	学年の指定の有無＊	なし	指定学年＊					可
	所要時間の目安 単位：分	90分程度						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間	※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間（タイムスケジュール）」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数	450名程度まで						可
	舞台設置場所＊	フロア						不可
	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	16.2m	奥行	10.8m	高さ	5.4m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊						―
		舞台袖スペースの条件＊						―
		緞帳＊		バトン＊				―
	遮光(暗幕等)の要否＊	要	理由	照明効果を出すため				可
	ピアノの調律・移動の要否 （調律費・移動費は経費対象外です）	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。				可
		ピアノの事前調律＊	要					可
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					可
	公演に必要な電源容量	100A （最低65A）	※主幹電源の必要容量					可
	その他特記事項							応相談
	ピアノの状態（調律）が悪い場合は、必ず本公演までに調律をお願いします。							不可

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.0m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		20m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。